

平成25年度 第1回 経営協議会議事要録

日 時 平成25年6月10日（月）14：00～15：50

場 所 事務局第1会議室

出席者 池田学長，小田部委員，久保田委員，鈴木委員，関委員，高野委員，館岡委員，中原委員，柳生委員，谷島委員，田代理事，神永理事，前田理事，伏見人文学部長，尾崎教育学部長，折山理学部長，米倉工学部長，太田農学部長，相原総務部長

欠席者 山口委員

同席者 影山理事，矢口監事，佐々木副学長，荒川学長特別補佐，小野寺学長特別補佐，佐藤学長特別補佐，高原学長特別補佐，三村学長特別補佐，財務部長，学務部長，学術企画部長，総務課長，人事（労務）課長，監査主幹，財務課長，施設課長，学務課長，入学課長，企画課長

議 題

・審議事項

- 1 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
- 2 平成24事業年度財務諸表等について
- 3 平成26年度茨城大学概算要求について
- 4 平成23事業年度決算剰余金の使途について
- 5 その他

・討議事項

- 1 大胆な大学改革について

・報告事項

- 1 平成24事業年度に係る業務の実績に関する自己点検評価書について
- 2 平成25年度会計検査院会計実地検査受検概要報告
- 3 平成25年度入学試験の実施状況について
- 4 経営協議会学外委員の皆様による事務職員の業績評価の実施について
- 5 その他

配付資料

- 資料 1 : 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）
- 資料 2 : 平成23事業年度財務諸表等について
- 資料 3 : 平成26年度概算要求に向けた事前相談事業一覧
- 資料 4 : 平成23事業年度決算剰余金の使途について
- 資料 5 : 機能強化タスク・フォースのまとめ
- 資料 6 : 平成24事業年度に係る業務の実績に関する自己点検評価書（案）
- 資料 7 : 平成25年度会計検査院実地検査受検概要報告
- 資料 8 : 茨城大学入学試験実施状況一覧
- 資料 9 : 事務職員の活動に対する学外評価者評価シート

参考資料

- 1 : 知的好奇心を持って挑戦しよう（茨城大学入学案内2014）

議 事 概 要

I 議事要録の確認

学長から、平成24年度第7回経営協議会議事要録については、既にホームページに公表済みである旨報告があった。

II 審議事項

1 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

学長から、平成25年6月28日までに国立大学法人評価委員会に提出する平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について審議願いたい旨提案があり、さらに、荒川評価室長から、平成24年度の教育・研究面での主な取組内容などについて、資料1に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

また、国立大学法人評価委員会に提出するまでに、字句等の修正が必要となる場合は、学長に一任することが併せて了承された。

委員から出された主な意見は次のとおり。

- 教育の国際化に向けた、英語教育の低学年化が提唱されているが、大学としてどのように対応しようとしているのかお伺いしたい。

2 平成24事業年度財務諸表等について

学長から、平成24事業年度財務諸表等について審議願いたい旨提案があり、さらに、財務部長から、資料2に基づき内容について説明があり、審議の結果、

提案のとおり了承された。

なお、文部科学大臣に提出するまでに内容等の修正が必要となる場合は、学長に一任することが併せて了承された。

3 平成26年度茨城大学概算要求について

学長から、平成26年度茨城大学概算要求について審議願いたい旨提案があり、さらに、前田理事から、平成26年度の概算要求については、文部科学省への提出が7月中旬であること、概算要求事業の提出に向けて、現在、文部科学省と事前相談を行っていること等、資料3に基づき内容の説明があり、審議の結果、提案の内容で文部科学省に事前相談を行うことが了承された。

なお、最終的に文部科学省へ提出した概算要求事業については、10月開催予定の経営協議会で報告する旨の補足説明があった。

4 平成23事業年度決算剰余金の使途について

学長から、平成23事業年度決算剰余金の使途について審議願いたい旨提案があり、さらに、前田理事から、平成23事業年度の決算剰余金の使途については、3月25日に文部科学省から承認通知が届いたことから、3月27日の役員会で目的積立金に組み入れることを承認したものであり、経営協議会として事後了承をいただきたい旨、資料4に基づき内容の説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

III 討議事項

1 大胆な大学改革について

学長から、本学の大胆な大学改革について意見を伺いたい旨提案があり、学長から、資料5に基づき内容について説明があり、意見交換が行われた。

委員から出された主な意見は次のとおり。

- 大学の整理統合の流れの中で、大学改革を打ち出すことでこの流れに大学がどのように取り組もうとしているのか伺いたい。
- 学長から大学改革についてお話しいただきましたが、より茨城大学を良くするためにより学校経営を良くするためという視点から、各学部長さん個人々の意見もお聞きし、また、我々も学外委員としての立場から意見交換ができる場を設けていただきたい。1日でも半日でも会食会等も交えながら、時間をたっぷり取って実施いただきたい。先週、日本経済新聞に秋田大学のシンポジウムの広告が出ていた「いま、大学の使命を考えるー日本の未来・国際資源・人づくり」～秋田大学国際資源学部構想にける思い～には、そうそうたる顔ぶれの方が出席し、日経ホールで開催される。これを見て秋田大学は相当レベルが高くなっていて、危機意識も感じましたので、より茨城大学を良くするためにより学校経営を良くするためということだけに絞って、個人々全員が発言できる機会を設けていただきたい。

- 大学全体の改革の仕方と学部の考えている改革の仕方が違う，文部科学省がミッション再定義で各分野毎に意見交換会を行って，各大学の各学部がどういう特色を持っているのかスキャンしている。そこで情報が伝わってアンブレラに対応しようとしている。工学部と教育学部が先陣を切って実施している。このことについては，学外委員の方々と意見交換を行うことが有効だと考えている。
- 全国に86の国立大学があるが改革の進捗状況には差がある。秋田大学の改革は先頭を切っており，大学改革補助金でも14件採択された内，秋田大学の取組も採択されている。昨年出された大学改革実行プランに基づき各大学も改革を行っている。また，中教審答申により学士課程の質的転換がうたわれ，学生の主体的な学びの取組等が取り上げられており，大学改革も大学が主体的に取り組むべきである。
- タイムスケジュールからすると，平成27年度の入試から変更することになり，現在の高校2年生が該当する。それまでに，高校生や高校側の進路指導に理解が得られるか不安がある。また，教員養成は継続されるとしても，茨城県では，今後4，5年間に教員の大量退職が見込まれており，安定した教員養成については配慮願いたい。さらに，入試の受験科目等についても早めに対応願いたい。
- 改革案だと既存の学部は残す形だが，学部の廃止・統合は考えないのか。企業の場合は組織の廃止・統合は当たり前に行っている。今後，改革の進め方について，各学部長さん方ともディスカッションの場を設けて欲しい。
- 大学は教員を異動させるにも大変なところで，理想論をぶつけ合ってもなかなかうまくいかないところがある。

学長から，大学改革については，今後も，経営協議会において意見を伺っていききたい旨の発言があった。

IV 報告事項

- 1 平成24事業年度に係る業務の実績に関する自己点検評価書について
荒川評価室長から，平成24事業年度に係る業務の実績に関する自己点検評価書について，資料6に基づき，内容について報告があった。
なお，学長から，自己点検評価書については，平成22年度から第2期中期計画期間中の各年度の評価を積み上げており，資料のボリュームが多くなることから，資料の体裁等について工夫して欲しい旨の発言があった。
- 2 平成25年度会計検査院会計実地検査受検概要報告
学長から，事前資料送付により質問の有無を確認した結果，特に質問等はなかった。

3 平成25年度入学試験の実施状況について

入学課長から、平成25年度入学試験の実施状況について、資料8に基づき、内容について報告があった。

4 経営協議会学外委員の皆様による事務職員の業績評価の実施について

労務課長から、経営協議会学外委員の皆様による事務職員の業績評価の実施について、学外委員の皆様へ協力に対する謝辞の後、資料9に基づき、内容について報告があった。

委員から出された主な意見は次のとおり。

- 面識のない方の評価は出来ないので、担当者に説明の上評価は辞退させていただいた。今後、評価の件も含めて、改めて意見交換の場を作っていただきたい。
- 既に学内評価者の方の評価が入っていることから、それが目に入ってしまったら改めて評価を付けるのが難しい。文章のまとめ方で評価をしてしまった部分もあった。

5 その他

(1) 平成25年度版入学案内について

学務部長から、平成25年度版の大学入学案内について、机上配付資料に基づき報告があった。

(2) 経営協議会会議資料の公開について

学長から、経営協議会会議資料の公開について、確認があった。

(3) 次回経営協議会開催日 10月21日(月) 14時00分